

令和3年度 モデル的事業 実施計画書

1. モデル的事業名	魅力情報発信事業
2. 事業名	魅力・お宝発信事業
3. 目的	<p>①情報発信事業  久々野に魅力を感じるファンを作り、久々野に住みたいと思う人を増やすため、特産品開発して商品化するなどコミュニティービジネスの創出する。および移住者を久々野へ誘う仕組みを構築する。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野の魅力を外部に発信する仕組みが乏しい</li> <li>・久々野地域の情報が得にくい</li> <li>・まちづくりの事業に地域の若い人が興味を持たない</li> </ul> <p>②お宝マップ作成事業  身近な「まちの魅力」探しを行うことでまちの長所を伸ばし、住民が久々野に誇りと自信を持ち、子どもたちが将来久々野に残りたいと思える魅力あるまちづくりを行う。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都会へ憧れ、若い人が地元に残らない（都会への流出）</li> <li>・地元の魅力を感じていない</li> <li>・お宝（地域資源）の消失</li> </ul>
3. 事業内容	<p>①情報発信事業</p> <p>●平成30年度の事業</p> <p>7月、10月に多摩大学を招聘し、効果的な情報発信講座を開催。実際に学生と地域を廻りSNSで久々野の写真や動画をアップした。</p> <p>学生の発信にアメリカやイタリアから反応があり、将来、久々野が外国から注目をされる可能性を感じた。</p> <p>10月は、学生からリンゴを使った特産品アイデア報告があり、地域住民が試作をして今後の特産品化に向けて検討を始めた。</p> <p>中学2年生が大学生と久々野の魅力についてワークショップを行った。中学生は、東京の学生が久々野に魅力を感じていることが驚きだったようだ。学生は、中学生をリードする使命感でよいワークショップとなった。</p> <p>●平成31年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした情報発信から住民主体の情報発信増の仕組みへと構築していく。</li> <li>・久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法など</li> </ul>

	<p>についてワークショップの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩大学の指導者及び学生による情報発信の検証と手法のまとめ。</li> <li>・看板やアイテム充実による情報発信スポット（インスタ映えなど）の創出とSNSフォトコンテストの開催。</li> <li>・地元中学生と多摩大学がアクティブラーニングを展開し、お互いのスキルを高め、情報発信力を強化する。</li> </ul> <p>●令和2年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員主体の情報発信から地域全体での情報発信へ仕組み作り</li> <li>・継続できる仕組み作り</li> <li>・久々野の魅力を大量に発信する</li> </ul> <p>●令和3年度事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度新型コロナウイルス感染症により、委員会が予定より開催できず、滞っていた情報発信の仕組みづくりと継続できる仕組みを築く。</li> <li>・久々野の魅力を大量に発信する。</li> </ul> <p>②お宝マップ作成事業</p> <p>●平成30年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の立ち上げとお宝のリストアップ作業</li> <li>・今後の事業の進め方について外部講師からアドバイスをもらう</li> </ul> <p>●平成31年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の手順の見直し、検討</li> <li>・専門家・講師を交えてのまとめ</li> <li>・小中学校と連携したお宝探査ツアー実施。</li> <li>・住民参加によるお宝のリストアップと活用等の検討</li> </ul> <p>●令和2年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新お宝マップの最終確認</li> </ul> <p>●令和3年度の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度にできなかった最終確認とお宝めぐりを行う。</li> <li>・新お宝マップ冊子作成。地域全戸に配布する。</li> <li>・情報発信のネタ帳としての利用</li> </ul>
4. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を行う仕組みを構築することで、より広範囲で多くの情報を発信できるようになる。</li> <li>・地域全体が自発的発信することで、地域で魅力が共有される。</li> <li>・地域資源を発掘し、郷土愛の醸成につながることで、次世代の地域担い手が増える。</li> <li>・若い人がまちづくりに興味を抱き、まちづくりへの参画のきっかけとなる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源が貴重なお宝と気づくことで特産品化へすすむ。</li> <li>・特産品などの情報が発信され、新たなコミュニティビジネスにつながる。</li> <li>・地域に興味を持ち、来訪・移住される人が増える。</li> </ul>
--	---

## 事業スケジュール

### ①情報発信事業

月 日	項 目	事業内容（対象・方法等）	摘 要
年間	情報発信実施	委員が主導で自発的情報発信を行い、効果検証。	委員会委員 18 名（商工会青年部、農業青年生産者など）
7 月～10 月	ワークショップと実践	情報発信スポットの創出や地域全体での情報発信の仕組みを検討	委員会委員
10 月中旬	視察・まとめ	教授・学生を久々野に招聘。委員が学生と久々野地域を視察。H30 年から行ってきた発信事業の総括と今後の提言。	大学（教授・学生） 委員会委員
11 月～3 月	ワークショップ	住民主体の情報発信が継続できる仕組みを構築	委員会委員 地域住民
12 月	発表	今回の取り組みをまとめて多摩大学アクティブラーニング発表会等で発表する	実行委員および地元中学生
5 月～2 月	SNS フォトコンテスト	フォロワーを対象にフォトコンテストを実施する	事務局、委員会委員

### ②宝マップ作成事業

月 日	項 目	事業内容（対象・方法等）	摘 要
4 月～9 月	お宝のリストアップ最終確認作業	地域別、項目別	委員会委員 12 名（観光協会、町内会、小・中学校など）
4 月～9 月	お宝めぐり	地域別にお宝を実際に見て廻る	小・中学生、地域住民
10 月～2 月	お宝マップ冊子デザイン	冊子のデザインについて検討	委員会委員・印刷業者
2 月下旬	最終校正	冊子の最終校正	委員会委員
3 月	お宝マップ冊子発行・配布	お宝マップ冊子を久々野地域に配布	委員会委員

## 令和3年度 モデル的事業 収支予算書

## 【収入】

単位:円

区 分	予算額	内 訳
市 補 助 金	1,560,000	
自 主 財 源	0	
合 計	1,560,000	

## 【支出】

単位:円

事 業 ・ 科 目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
魅力情報発信事業	686,000	686,000	
人件費	108,000	108,000	委員報酬(実行委員会) 6,000円*18人
旅費	180,000	180,000	多摩大学招聘(学生) 3,000円(宿泊費)*30人*2泊*1回
需用費	73,000	73,000	消耗品費・印刷費・燃料費
報償費	60,000	60,000	フォトコンテスト賞品
役務費	65,000	65,000	通信運搬費
使用料及び賃借料	200,000	200,000	バス借り上げ代(地域巡回用) バス3日間*1回 高速料金(多摩大⇄久々野) レンタカー
お宝マップ事業	874,000	874,000	
人件費	54,000	54,000	委員報酬(実行委員会) 6,000円*9人
需用費	10,000	10,000	消耗品費(事務用品等)
需用費	800,000	800,000	お宝マップ冊子作成
役務費	10,000	10,000	通信運搬費
合 計	1,560,000	1,560,000	